

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2013-512659(P2013-512659A)

【公表日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2012-525550(P2012-525550)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/06	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/713	

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月27日(2013.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、細胞傷害性Tリンパ球(CTL)誘導能を有する15アミノ酸未満の単離されたオリゴペプチド：

(a) SEQ ID NO:3、2および4からなる群より選択されるアミノ酸配列；ならびに

(b) 1個、2個、または数個のアミノ酸が挿入、置換、欠失、または付加されている、SEQ ID NO:3、2および4からなる群より選択されるアミノ酸配列。

【請求項2】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項1記載のオリゴペプチド：

(a) SEQ ID NO:3、2および4からなる群より選択されるアミノ酸配列のN末端から2番目のアミノ酸が、ロイシンおよびメチオニンより選択される；ならびに

(b) SEQ ID NO:3、2および4からなる群より選択されるアミノ酸配列のC末端アミノ酸が、バリンおよびロイシンより選択される。

【請求項3】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項1または2記載の単離されたオリゴペ

プチド。

【請求項 4】

S E Q I D N O : 3、2 および 4 からなる群より選択されるアミノ酸配列のみからなる、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の単離されたオリゴペプチド。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 6】

C T L を誘導するための剤または組成物であって、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドの 1 種もしくは複数種、または請求項 5 記載のポリヌクレオチドの 1 種もしくは複数種、または請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドと H L A 抗原との複合体を自身の表面に提示する A P C またはエキソソームの 1 種もしくは複数種を含む、剤または組成物。

【請求項 7】

がんの治療および / もしくは予防、ならびに / または術後のその再発の予防のための薬剤であって、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドの 1 種もしくは複数種、または請求項 5 記載のポリヌクレオチドの 1 種もしくは複数種を含む、薬剤。

【請求項 8】

H L A 抗原が H L A - A 2 である対象に投与するために製剤化される、請求項 7 記載の薬剤。

【請求項 9】

がんを治療するために製剤化される、請求項 7 または 8 記載の薬剤。

【請求項 10】

以下の段階のうちの 1 つを含む、C T L 誘導能を有する抗原提示細胞 (A P C) を インビトロ で誘導するための方法 :

(a) A P C と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドとを、インビトロ で接触させる段階 ; または

(b) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドをコードするポリヌクレオチドを A P C に導入する段階。

【請求項 11】

以下の段階のうちの少なくとも 1 つを含む方法のいずれかによって、C T L を インビトロ で誘導するための方法 :

(a) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドとの複合体を自身の表面に提示する A P C と共に培養する段階 ;

(b) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドとの複合体を自身の表面に提示するエキソソームと共に培養する段階 ; および

(c) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドに結合する T 細胞受容体 (T C R) サブユニットポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む遺伝子を T 細胞に導入する段階。

【請求項 12】

H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドとの複合体を自身の表面に提示する、単離された A P C 。

【請求項 13】

請求項 10 記載の方法によって誘導される、請求項 12 記載の A P C 。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドを標的とする、単離された C T L 。

【請求項 15】

請求項 11 記載の方法によって誘導される、請求項 14 記載の C T L 。

【請求項 16】

対象においてがんに対する免疫応答を誘導する ための剤または組成物 であって、請求項

1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチド、免疫学的に活性なその断片、または該オリゴペプチドもしくは免疫学的に活性な断片をコードするポリヌクレオチドを含む、剤または組成物。

【請求項 1 7】

A P C を誘導するための剤または組成物であって、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のオリゴペプチドの 1 種もしくは複数種、または請求項 5 記載のポリヌクレオチドの 1 種もしくは複数種を含む、剤または組成物。